

令和4年度以降の「絵本のまち板橋」推進について

「絵本のまち板橋」は、令和2（2020）年度に策定された「いたばし No.1 実現プラン 2025」における重点戦略の柱の1つである「ブランド戦略」の展開として位置づけられ、区がもつ「ボローニャとのつながり」や「産業ものづくり」といった独自性や先駆性を生かし、区民の「愛着」と「誇り」の醸成に繋げ、区内外にその存在を示すものとして積極的に展開することとしている。

今般、関係所管課から構成される板橋区シティプロモーション及び広報戦略推進委員会における研究、協議を踏まえ、「絵本のまち板橋」事業を円滑かつ着実に実施・推進するための、①方向性、②当面の事業展開、③ロードマップ及び④令和4年度の事業について下記のとおりまとめた。

なお、本件内容は、事業の実施及び試行と、その検証の状況に応じて、また今後の区民や関係団体、有識者等を巻き込んだ議論・流れの展開を踏まえ、適宜更新していく。

記

1 「絵本のまち板橋」推進に向けた方向性

「絵本のまち板橋」推進に向け、区民等の絵本文化との関わり方を、利用者としての「享受」（視点1）と、創作者としての「創造」（視点2）の2つの視点に分け、両者が互いに刺激を受け相乗効果を生むよう事業を構築・展開するとともに、「親しみやすさ」「新しい発想・方法」など絵本がもつ魅力や特徴を取り入れた、「絵本文化」の積極的な展開をめざす。

（1）事業の展開1（利用者の視点、創作者の視点、それぞれによる展開）

① 視点1：絵本文化の「享受」（利用者目線）

区は、利用者が絵本文化・絵本に親しみ、その生活が充実するよう、以下の環境の整備を一体的に行う。

- ア 絵本がある環境、絵本が身近にある生活
- イ 絵本を味わう知識・技能習得
- ウ 絵本を通じたコミュニケーション
- エ 絵本づくり・絵本を通じた活動

② 視点2：絵本・絵本文化の「創造」（創作者目線）

区は、創作者が絵本・絵本文化を創作・創造し、その活動が充実するよう、

以下の環境の整備を一体的に行う。

ア クリエイター支援・協働

イ クリエイティブ（関連）産業支援・協働

③ 2つの視点に共通するもの（施策・事業の進展によって実現される価値）

区民等が施策・事業を体験することで感じられるものとして、区は以下の価値の実現をめざす。

ア 絵本に触れる・絵本を創る 「喜び」

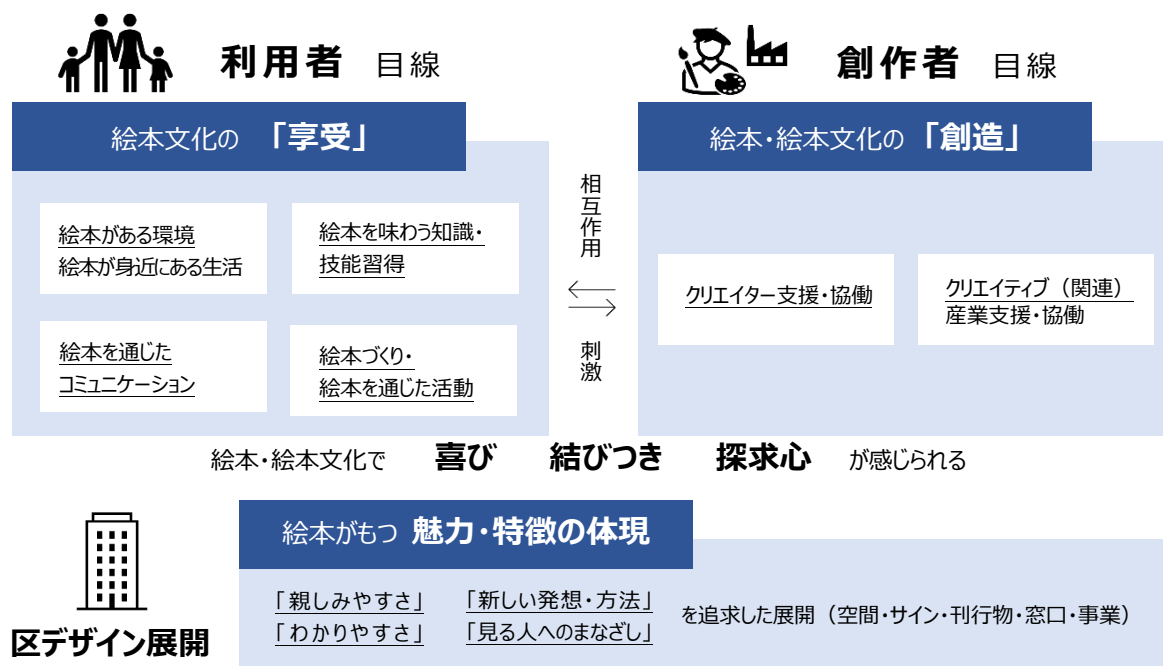
イ 絵本で生まれる 「結びつき」

ウ 絵本で刺激され・満たされる 「探求心」

（２） 事業の展開 2（板橋区による絵本の魅力・特徴の体現）

絵本がもつ「親しみやすさ」などの魅力・特徴への区の共感・志向を示すものとして、さまざまな場面におけるデザイン等に絵本の要素を取り入れ、これを「板橋区による絵本の魅力・特徴の体現」と位置づけ、展開する。

【「絵本のまち板橋」推進に向けた方向性】



2 「絵本のまち板橋」の当面の事業展開

(1) 戦略的視点の設定

「絵本のまち板橋」推進に向けた方向性を踏まえ、各事業を段階的に検討・実施していくとともに、相互に関連付け一体となった展開を図る。

展開にあたっては、「絵本のまち板橋」のさらなる推進の基礎を固め、取り組みを加速し、持続可能なものとするため、当面めざすべき戦略的視点として以下の4項目を設定し、各事業の検討・実施にあたっては十分に留意するものとする。

また、ポーロニャ市との国際的なつながりを持ち、区内産業ものづくりとも連携する「絵本のまち板橋」の取り組みは、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）や文化庁が進める創造都市（Creative City）との親和性が高く、これら枠組みを参照・活用しながら、区の展開・各事業の調整等を行う。

(2) 各戦略的視点

【戦略的視点1】 共に進む市民団体・産業界の発掘・連携・支援

「絵本のまち板橋」について、個々に、または区をはじめとした実施主体と共に、取り組み活動する個人または団体を発掘し、連携関係を構築し、活動を支援する。

個人、団体は以下を代表的な例とするほか、広く模索する。

ア 絵本関連事業を協力・応援する市民団体

イ 印刷・製本産業だけでなく、広く産業界・商店街

【戦略的視点2】 創作者の集積と育成、相乗効果（シナジー）創出

創作者が活発な交流を行い、また創作者が育ち、創作・創造へとつながる環境を整備するため、以下の状態の実現をめざす。

ア 拠点の周辺に創作者が集まる仕組み

美術館及び中央図書館を「絵本のまち板橋」の重要な拠点とし、周辺に創作者が常駐する、あるいは高頻度で来訪し、交流や協働、創作・創造が生まれる物理的または制度的な「場」を創出する。

イ 大学・研究機関との連携による創作者の育成、関係性の構築

絵本に関連する研究・人材育成を行う大学・研究機関と連携し、その活動場所の一つとして「絵本のまち板橋」の取り組みの活用を促し、創作者の育成と区との関係性を構築する。

【戦略的視点3】 中央図書館を拠点とした上板橋エリアの展開

常時絵本に触れることのできる中央図書館（ポーロニャ絵本館）を、年間を通してヒトやコト（イベント）が集まる拠点として、所在する上板橋エリアでの地域活性化、区民参加の視点を十分に意識し、関連付けた展開をめざす。

【戦略的視点4】 「絵本のまち板橋」を象徴する「国際イベント」の定期・継続開催

戦略的視点 1、2、3 の充実を踏まえ、区民及び区を訪れる方が、「絵本のまち板橋」について一体的な体験ができる象徴的な場として「国際イベント」を定期的・継続的に開催することをめざす。

「国際イベント」は、区、大学・研究機関や企業、市民社会を広く巻き込むことを意識・想定し、以下の内容を、2 年に 1 回（ビエンナーレ）または 3 年に 1 回（トリエンナーレ）実施することをめざす。

ア 絵本シンポジウム（公開討論会）

イ 絵本フェア（マーケット・見本市）

ウ 絵本フェスティバル（市民、産業、行政等が一体となったお祭り）

【当面の事業展開 - 戦略的視点】

視点 1 共に進む市民団体・産業界の発掘・連携・支援



絵本関連事業を協力・応援する市民団体
印刷・製本産業だけでなく、広く産業界・商店街

視点 2 創作者の集積と育成、相乗効果創出



美術館、中央図書館の周辺に創作者が集まる仕組み
大学・研究機関との連携による育成、関係性の構築

視点 3 中央図書館を拠点とした上板橋エリアの展開



中央図書館に年間を通してヒトやコト(イベント)が集まる
上板橋エリアでの地域活性化、区民参加の展開

視点 4 「国際イベント」の定期・継続開催



「絵本のまち」を感じるシンポジウム、フェア、フェスティバル
行政、民間セクター、市民社会を広く巻き込む

**国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）や文化庁が進める
創造都市（Creative City）の枠組みを活用**

3 「絵本のまち板橋」のロードマップ（基本的枠組み）

「絵本のまち板橋」の推進に向け、経由すべき重要な通過点として、戦略的視点 4 に規定する「国際イベント」の内容（シンポジウム、フェア及びフェスティバル）のうち 1 つ以上を、令和 8（2026）年に開催することを目標とし、令和 4（2022）年度以降のロードマップ（基本的枠組み）について、以下のとおり設定する。

（1） 令和 4（2022）年度から令和 5（2023）年度

- ① 戦略的視点 1（共に進む市民団体・産業界の登場・連携）、2（創作者の集積と育成等）、3（中央図書館を拠点とした上板橋エリアの展開）の充実を十分に意識しながら、既存事業、新規事業の実施、試行、点検、拡大、転換等を行う。
- ② 併せて、既存事業、新規事業は、それが戦略的視点 4（「国際イベント」の開催）のプログラムの 1 つとなりうることを意識、実施・試行、蓄積する。
- ③ 「魅力・特徴の体現」にあたって、ロゴマーク、ロゴタイプ等の VI（ヴィジュアルアイデンティティ）を設定し、広く活用する。（展開先の例：区民等と区との接点（封筒等物品、表示等空間）、など）
- ④ 一体的な検討にあたって、有識者、企業、NPO、社会起業家等、外部の人・組織体等との連携・活用により実施するほか、継続性、専門性をもつ推進体制を構築する。

（2） 令和 6（2024）年度から令和 7（2025）年度

- ① （1）の取り組みについて継続的に実施する。
- ② ①の成果を踏まえ、戦略的視点 4（「国際イベント」の開催）の実施可能性を検討するとともに、実施に向けた準備を行う。
- ③ 今後策定される区の基本計画等に「絵本のまち板橋」を位置付けるため、実施、試行された施策・事業の成果を確認するとともに整理し、本格実施に向けた制度の構築、関係規定の整備にかかる各種調整等、必要な事項・準備を行う。

（3） 令和 8（2026）年度以降の展開

- ① 区の基本計画等に位置付けられた「絵本のまち板橋」施策・事業を実施する。
- ② 戦略的視点 4 に規定する「国際イベント」の内容（シンポジウム、フェア及びフェスティバル）のうち 1 つ以上を開催する。
- ③ 戦略的視点 1（共に進む市民団体・産業界の登場・連携）、2（創作者の集積と育成等）、3（中央図書館を拠点とした上板橋エリアの展開）のさらなる充実を進める。

【「絵本のまち板橋」のロードマップ（基本的枠組み）】

	2022	2023	2024	2025	2026
戦略的視点	4 国際イベント開催 を意識した <u>視点1、2、3の検討・実施・蓄積</u> ○小規模イベントの蓄積 ○市民、創作者支援 ○内外関係機関連携		視点1、2、3の検討・実施・蓄積継続 <u>4 国際イベント の可否検討・準備</u>		視点1、2、3継続 <u>4 国際イベント 開催</u>
「推進に向けた方向性」の展開	【展開】既存事業の工夫・展開、新規事業の実施、検証・更新 <u>絵本に触れ、味わい、交流と活動が生まれる事業実施</u> 【2022】○ワークショップ ○原画展 ○区民まつり ○わくわくフェスタ、ほか 【2023以降】2022実施事業の拡充、新規事業の検討、実施				新制度、関係規定に基づく実施
「享受」					
「創造」	<u>創作者と創造(関連)産業の活動が充実する事業実施</u> 【2022】○原画展、三浦太郎展 ○印刷・製本展、ほか 【2023以降】2022実施事業の拡充、新規事業の検討、実施				
「魅力・特徴の体現」	【2022】ロゴマーク、ロゴタイプ等のVIの設定 【2023以降】VIの展開継続、展開拡大の検討・実施				
推進のための環境整備	【2022～】専門家活用事業、区民向けワークショップ 【2024～】制度構築、関係規定整備等				

4 令和4年度の主な新規事業等

「絵本のまち板橋」の推進の方向性、戦略的視点及びロードマップ（基本的枠組み）を踏まえ、関係所管課は以下の主な新規事業ほか、既存事業においても工夫し実施する。

（1）政策経営部関係（ブランド戦略担当課）

○外部専門家を招いた価値・事業創出事業、区民向けワークショップ

「絵本のまち板橋」推進にあたって区が行う環境整備や実施事業について、有識者、企業、NPO、社会起業家等の外部専門家を招き、研究・検討する。

また、「絵本のまち板橋」の考え方や進め方、官民間問わず実施できる取り組み等について共有し、新しい発想につなげる場として、区民向けワークショップを実施する。

○絵本のまち関連デザイン作成

ロゴマーク、ロゴタイプ等の作成および、各課の絵本のまち関連事業のデザイン支援を実施する。

（2）危機管理部関係

○絵本を活用した防犯意識啓発事業

（3）区民文化部関係（美術館）

○クリエイターを招いた絵本関連ワークショップ事業、ほか

第一線で活躍する著名な絵本作家・グラフィックデザイナー・研究者等を招き、世代等別に関心を深める、創作する、研究するなど行うワークショップ事業。

ほか、ポローニャ国際絵本原画展、三浦太郎展等。

（4）産業経済部関係（産業振興課、くらしと観光課）

○絵本関連印刷・製本に関する展示イベント

全国的にも珍しい、印刷製本企業が集積する板橋区における、各企業の優れた技術に関する展示イベント

○区民まつりにおける「絵本のまち板橋」イベント

「絵本のまち板橋」を体験できるイベントを実施することで、区内外に広くPR。

(5) 子ども家庭部関係（子ども政策課）

○こどもわくわくフェスタ 2022 における絵本の魅力を伝えるプログラム、ほか

こどもわくわくフェスタ2022では、中央図書館がある平和公園をメイン会場として、中央図書館ほか関係課や関係団体との連携による絵本の魅力を伝えるプログラムの提供、またその発信。

ほか、CAP'S（児童館）に「絵本のひろば」を設置し、絵本に特化したプログラムを実施するなどの取り組み強化。

(6) 教育委員会事務局関係（中央図書館）

○絵本編集現場、世界の絵本事情を知るイベント実施、ほか

出版されたばかりの新刊絵本について、その内容・制作秘話等など、担当編集者を招き紹介してもらいイベント「On the table」、在日の大使館文化部の担当者等を招き、その国の新刊絵本、未翻訳絵本について紹介してもらいイベント「世界の書棚から」を実施。

ほか、ボローニャ・ブックフェア in いたばし、いたばし国際絵本翻訳大賞、英語絵本活用イベント、工作イベント等。

【令和4年度の主な新規事業等】

方向性	事業	戦略的視点				環境整備
		1	2	3	4	
享受	絵本を活用した防犯意識啓発事業	○			○	
	区民まつりにおける「絵本のまち板橋」イベント				◎	
	こどもわくわくフェスタ2022			◎	◎	
	いたばし国際絵本翻訳大賞			○	◎	
享受・創造	外部専門家を招いた価値・事業創出事業	○	○	○	○	◎
	区民向けワークショップ	◎	○	○	○	◎
	クリエイターを招いた絵本関連ワークショップ事業		◎		◎	
	絵本編集現場、世界の絵本事情を知るイベント		○	◎	○	
創造	ボローニャ国際絵本原画展、三浦太郎展		◎		◎	
	絵本関連印刷・製本に関する展示イベント	◎		○	◎	
体現	絵本のまち関連デザイン	○	○	○		

○関係 ◎強い関係